

<五島圏域介護人材育成確保対策地域連絡協議会 様>

上映日:2025年07月17日(木) 場所:五島市福江文化会館(長崎県五島市)



中学生454名が参加し、多くの生徒が涙。映画が生徒に残す影響の大きさを実感

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

ふくし・介護の魅力ややりがいの子供のころから伝えることで、正しい理解と他者に対する優しい気持ちを育む取り組みの一環として、昨年引き続き上映会及び山国さんの講話を実施させていただきました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

五島圏域の福祉や介護施設・事業所を中心として、行政や教育機関等の関連団体で組織したメンバーです。

●資金はどのように捻出しましたか？

長崎県地域医療介護総合確保基金補助金を充当しました。

●地域へどのように告知をしましたか？

五島市教育委員会を通して、学校に周知しました。
当日は五島市立福江中学校の生徒454名、教職員40名、保護者10名の計504名の方に参加いただきました。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

大変、好評で涙を流して鑑賞している生徒さんが多数おられました。アンケートでは「介護のことを知れたのでよかった」「人々を支える仕事もかっこいいし、私もそういう支えられる人になりたいと思いました。」「私も、人のことを考え、行動できる人になりたい」「介護福祉士のイメージが変わりました」などの感想をいただきました。

また「ケアニン2」を鑑賞された多数の中学生が、3日後の有料上映の「ぼくが生きてる、ふたつの世界」(同じプロデューサーが手掛ける作品)の上映会に自主的に参加されていたのが、大変うれしかったです。

また、山国さんのお話を聞いて映画の世界に興味をもった生徒さんがいるよ・・と、先生からコメントをいただきました。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

介護人材等の育成確保のため、学校等で講話など実施していますが、映画が生徒さんたちに与える影響は、計り知れないものがあると感じています。

ご担当者: 山田峰雄さん